

有縁の皆さんでお読み下さい

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

明日ありと 思う心のあだざくら 夜半に嵐の吹かぬものは

お念仏の 家族に なるう

毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.322



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

永代経法要 (定期門徒総会)

4月23日(日)

午後1時半から4時まで

勤行『正信念仏偈』
法話「新たな日常」
門徒総会

新規門徒会員紹介

令和4年度活動・会計報告

令和5年度活動・会計計画

その他



プログラム

花御堂にお花飾り
おつとめ
お釈迦様ご降誕物語
お誕生仏に甘茶かけ
お土産くじ引き

午後二時より四時まで

お釈迦様のご降誕にご報謝 はなまつり 四月八日(土)



YouTube 純正寺チャンネル LINE 純正寺公式アカウント 純正寺公式ホームページ



上記の QR コードを、スマホの QR コードリーダーで読み込んでください。

4月25日(火)
10:00~12:00 13:30~15:30
こんき常例布施
法話：近江八幡布願通寺 中尾 萌恵 師

純正寺の法要は「YouTube」「LINE LIVE」で、生配信でも録画でもご視聴・お聴聞していただけます。

住職法話 我聞如是

われかくのごとくきく

悲しみを力に変えるお念仏

愛と憎しみとは裏表

大切な人との死別は、身を切られるように辛いことですね。死別の悲しみは、時間の経過が癒してくるとも言われますが、なかなかそれは容易なことではありません。逆に、時間が経つにつれて悲しみが深まり、どうかあの時まで時間が戻ってほしいと叫びたくなることも少なくないでしょう。大切な人との死別は、本当に悲しくて辛いものです。それでは、この死別による悲しみと私たちはどのように向き合い、受け止め、乗り越えていったらよいのでしょうか。

私たちは平生、友達との間でも、夫婦や家族の間でも、しばしば憎しみあつたり争ったりして、必ずしも円満な人間関係のある生活を送ってはいません。人間の「愛」とは、常に嫉妬や憎しみと裏表です。ところが、もしも愛する人や友だちが亡くなった時、私たちはその事実にとどの様な感情を抱くのでしょうか。生きている時に感じた憎しみや欠点などは思い出せず、その面影のひとつひとつが懐かしい思い出として思い出されるのではないのでしょうか。争ったことさえも切実に回想されることがあります。

死別してはじめて知る

なぜこのようなことが起こるのでしょうか。それは、死に直面した時にはじめて、私たちはその人の様々な願いや思い、行いや仕事の意味を知るからです。死は、その人間の生命・人生を完璧に語ります。死別してはじめて「なるほど、あの人はああいう人であったのか」ということがいよいよはつきりして、あらためて慈愛の涙を流すのではないのでしょうか。

去る三月九日、私の父である純正寺の前任職の三十三回忌のご法事をお勤めさせていただきました。往生から三十二年も経ちますと、さすがに前任職のことを覚えてくださっている

方も少なくなり、またまだまだコロナ感染症への警戒感が強い中でありましたが、その中でも数名のご門徒がお参りくださったことは何とも嬉しい限りでした。

本堂の余間に、六年ぶりに掛けた父の肖像画の掛け軸。父の四十九日の時に出来上がった掛け軸を初めて見た時「似ていないなあ」と感じていたはずなのに、今は「こんな感じだったなあ」と思うようになっていました。

父は生前、いろんな言葉を残してくれましたが、その多くは当時の私には理解できないことばかりでした。しかし、三十二年が経過する中で「ああ、あの時の言葉はこういう意味だったのだ」と感じられるようになる

りました。

命よりも大切なこと

父は、生まれつきB型肝炎ウイルスの保菌者でした。私が生まれて間もなく、急性肝炎を発症しました。私が仕事の忙しさから入院治療を放棄した結果、慢性肝炎へと悪化しました。そして、往生の前年の春、布教先のお寺で倒れて救急車で病院に運ばれたのです。精密検査の結果、すでに肝炎は末期の肝硬変へと移行し、しかも肝細胞ガンの状態で、医師からは余命半年と告げられたのでした。

約三ヶ月後に、父は退院しました。しかし、それは決して治癒したのでも寛解の状態になったのでもなく、もう病院ではできるところがないということでした。ところが、余命宣告された秋になっても父は生きていました。秋は、滋賀県の真宗寺院の多くは報恩講をお勤めします。父も布教使でしたので、毎年報恩講の時期にはあちこちのお寺に法話に出向いていました。でも、さすがにこの状況では今年も布教には行かないだろうと思っていた私の期待と予想に反して、父は週末と言わず平日とも言わず、辛いであろう体を引きずるように布教に出向いていたのです。

私は、そんな父の姿を見て、心配な気持ちがあがて腹立たしさに変わっていました。十一月の下旬だったと記憶していますが、その日も夜のご法座を終えてクタクタになった父が帰宅しました。父のそんな姿を見た私は、父に「父さん、父さんの命は父さんだけの命じゃない。もう少し自分の命を大事にしてほしい」と訴えました。そんな私に、父はこう言ったのでした。「今のお前には理解できないと思うが、ワシには命よりも大切なことがあるんや」

死別の悲しみを 生きる力に

父の前置き言葉の通り、私には父のその言葉理解できませんでした。その頃の私は、「命が一番大事。命よりも大事なものは無い」と疑っていませんでした。でも、今は父が何を言わんとしていたかがわかります。それは、命よりも大事なことが見つかった時、始めて本当に命を大切に生きることができるといふことでした。お念仏を一人でも多くの人にお伝えするところ、この命を最も大切に生きるということなので、限りある命の世界に生まれたということは、必ず別れていかねばならないということなのです。しかし、生きていた時の言葉は、仏法の中で生きることによって、時間が経過するにつれていよいよ輝きを増し、限りある命を生き切る力になってくるのです。そして、それが死別の悲しみを無駄にしない生き方なのです。

おわり



純正寺 4月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキャップ

一、五五三、一四六個

年度末の三月も、たくさんの人達から三、八七〇個のキャップをお預かりしました。ありがとうございました。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

2日(日)・30日(日)
16:00~18:00
小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。手洗い・マスクを忘れずに。

釈尊降誕「花まつり」

8日(土)
14:00~16:00
年齢性別は問いません

お釈迦様のお誕生を祝い感謝するつどい。花御堂で灌仏をしておつとめをします。お土産も。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

11日(火)・18日(火)
10:20~11:30
年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう。

みんなの食堂ビハーラ

13日(木)・27日(木)
17:00~19:00
年齢・性別は問いません

コロナが普通のかぜになるまでもうわずか。でも、気は緩めずに感染対策しながら楽しい夕食を。

世のなか安寝なれ「ビハーラ彦根」

16日(日)
18:00~20:00
年齢・性別は問いません

参加者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

「月例法話座談会」

17日(月)
14:00~16:00
年齢・性別は問いません

日常の「何故?」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

キッズサンガ「ほとけの子ども会」

22日(土)
16:00~18:00
就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めの後、仏典童話の読み聞かせと楽しいおやつタイムです。

「永代経法要」「定期門徒総会」

23日(日)
13:30~16:00
純正寺門徒会所属門徒

前半の永代経法要は『正信偈和讃』のお勤めと住職法話。後半は、定期門徒総会です。

こんき常例布教

25日(火)
10:00~12:00.13:30~15:30
年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えて、法友ができる法座です。ご法話は近江八幡市願通寺の中尾萌恵師です。

ようこそ純正寺サンガへ

純正寺の念仏サンガに、新しいお仲間が加わりました。
釋証護(清水喜四三)さんです。証護さんは、中央教修を受講された門徒推進員でもありません。どうぞよろしく。

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:45
年齢・性別など問いません
『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。LINE LIVE で生配信もします。

住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません
生きることが辛くなる前に、早めに気軽にご相談下さい。
相談予約専用電話番号は 090-7874-2849
相談予約専用メールアドレスは namo-yorozu@docomo.ne.jp